

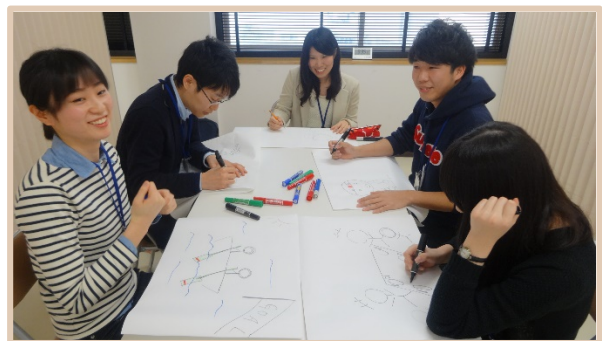
平成26年度第2回トータルヘルスケアワークショップとフィールドワークを開催しました

平成27年3月18日（水）から20日（金）に平成26年度第2回トータルヘルスケアワークショップとフィールドワークを開催しました。

今回は平成26年度になって2回目、通算3回目となります。応募が多かったため定員を増やし、新潟大学、新潟医療福祉大学、新潟薬科大学から25名の学生が参加しました。

第1日目はワークショップの開催です。初めに、アイスブレイキングとして、今まで最も心に残った学習をテーマに、各自が絵を描き、各班内で説明しあい、発表者が班全員の絵を紹介しました。

次に、口腔ケアの意味、その重要性などについて理解するため、歯科の黒川亮先生からミニレクチャーがありました。続いて歯科衛生士の田中さん、中井さんの指導の下、実際に口腔ケアに用いる器具を使用して体験実習をしてもらいました。



その後、グループワークとして「口腔ケアを通して考える超高齢社会の課題」について、KJ法を用いて班ごとに課題の抽出を行いました。口腔ケアを行う担い手不足、口腔ケアの重要性の認識不足、口腔ケアを必要とする患者の増加など、様々な視点から問題点が挙がりました。

午後からは、医科の黒川允先生から誤嚥性肺炎の予防について、鈴木翼先生からソーシャルキャピタルと健康についてミニレクチャーがあり、その後は翌日のフィールドワークの一般目標と行動目標を班ごとにたててもらいました。

第2日目は、胎内市の有松歯科医院・中条愛広苑、阿賀町の県立津川病院・東蒲の里、燕市のデンタルクリニックツチヤ・エバーグリーン、上越市柿崎区の柿崎病院・よねやまの里、上越市牧区の牧診療所・沖見の里の5地区に分かれて、口腔ケアをテーマにフィールドワークを行いました。各班とも口腔ケアの実際についてのレクチャーを受けたり、訪問診療に同行したり、嚥下食を実食したりと、有意義な体験実習を行うことができました。

第3日目は、「フィールドワーク体験共有」として、前日のフィールドワークで実際の医療現場で行われていた口腔ケアの様子や、体験実習した内容、そこからどのようなことを感じ、考えたかなどについてプレゼンテーションを行い、各班の体験を共有しました。

最後に3日間の感想をレポートにまとめ、全員で一言ずつ感想を述べ合いました。その後、参加者に修了証が手渡され、終了となりました。

今回は多くの学生に参加していただき、また全員のモチベーションが高く、非常に活気のある密度の濃いワークショップとフィールドワークとなりました。

